

# 議会報告会報告書

平成28年10月28日

山陽小野田市議会

議長 尾山 信義 様

A班

代表 矢田松夫

平成28年9月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

## 記

### 1 開催日時

平成28年10月26日（水） 19:00～21:15

### 2 開催場所

埴生公民館

### 3 参加人数（市民）

11 人

### 4 担当班議員名

（ 石田清廉 ）（ 大井淳一朗 ）（ 小野 泰 ）（ 河野朋子 ）  
（ 杉本保喜 ）（ 山田伸幸 ）（ 矢田松夫 ）

### 5 報告会次第

- (1) 市議会代表挨拶 （ 尾山信義 ）
- (2) 9月議会の報告
  - ① 総務文教常任委員会 （ 大井淳一朗 ） [司会]（ 杉本保喜 ）
  - ② 民生福祉常任委員会 （ 石田清廉 ） [記録]（ 矢田松夫 ）
  - ③ 産業建設常任委員会 （ 山田伸幸 ） [受付]（ 小野 泰 ）
  - ④ 一般会計予算決算常任委員会 （ 河野朋子 ）
  - ⑤ 議会のあり方調査特別委員会 （ 矢田松夫 ）
- (3) 質疑応答

## 6 主な質問・意見・提言

### <総務文教常任委員会>

- ① 山陽オート事業の収益を上げるためには、入場料を徴収するべきではないか。

[回 答]

議会も収益が上がるよう努力していきたい。入場料の徴収についてできるかどうかを検討していきたい。

- ② 収益は単年度では黒字だが、累積赤字もあり結果として、事業が黒字とは言えないのではないか。

[回 答]

これまで約34億円の累積赤字があったが、約19億円まで減少してきた。

- ③ 収益は全体的に赤字なのに、なぜ、保育園や小学校の便所等の整備に山陽オートの事業費を充てなければならないのか。

[回 答]

公営ギャンブルとは言いながら、地域公益事業として事業費が充てられている。

- ④ 収益がどのようにすれば上がるのか、収支計画を出させるべきではないか。

[回 答]

そのとおりである、今後、執行部に求めていきたい。

- ⑤ 場外車券売り場の売り上げ状況はどうなのか。

[回 答]

予想以上の売り上げである。

- ⑥ 赤字が続くのであれば、廃止を含めて検討をするべきではないか。

[回 答]

今後もオートレース事業のあり方について検討していきたい。

### <民生福祉常任委員会>

- ① 医師数は、労災病院に比較をすると半数である。だから待ち時間が長い。

[回 答]

医師の増員については今までも求めており、3ヶ月に1回開催される民生福祉委員会でも医師数30名の確保を求めていきたい。

- ② 特別繰り入れをしなければ赤字ではないか。これについては、返済しなくてもいいのか。

[回 答]

その通りだが、今回は基準外繰り入れであり、これについて返済義務はない。

- ③ 累積債務はいくらあるのか。

[回 答]

現在資料がないので回答が出来ない。

<産業建設常任委員会>

- ① 所管が別々になっている汚水処理を1本化するべきではないか。

[回 答]

そのようにしていきたいが、法律的に無理がある。

- ② 高齢化が進み「溝掃除」もできない。官が民を助けるべきではないか。

[回 答]

小規模土木で対応をしているが、議会も現地調査をしながら対応していきたい。

<一般会計予算決算常任委員会>

- ① 市立山口東京理科大について宇部市所有の土地を、なぜ宇部市の言いなりの価格で購入したのか。

[回 答]

「自治体間の土地売却は、現況評価が大原則」と宇部市側が主張したため、不動産鑑定士による評価価格で購入した。

- ② 10年間は交付金で黒字というが、間違いないのか。

[回 答]

学生の確保が出来ることが前提である。

- ③ 当初は108億円で薬学部が出来ることであったが、なぜ120億になったのか。この根拠は。

[回 答]

校舎面積が拡大され倉庫の新築、用地購入費などで膨らんだ。

<議会のあり方調査特別委員会>

- ① 議員定数について何人の市民の声を聞いてきたか。民意が反映されているのか。

[回 答]

市民の意見を聞き民意を反映するのが議員と思うが、何人の市民の声を聞いてきたのかの回答は出来ない。これまで、27人、24人、22人と減員をしてきた。

<その他>

- ① 市の財政は良くなってきたのか。

[回 答]

実質公債費比率も下がっており、財政状況は良くなっていると考えます。

- ② 執行部と同席した議会報告会にするべきだ。2時間では短い。4時間にするべきだ。

[回 答]

議会としての報告会であり、目的も違うので執行部との同席はできない。開催

時間については検討していきたい。

- ③ 埴生地区の市道拡幅工事についてなぜ「請願」が不採択となったのか。高潮対策もあり早急に「新規事業」のリストに加えるべきではないか。

[回 答]

現在、改修途中の事業もあり、こちらを優先して事業を進めなければならない。また、緊急性のある新規事業は他にもある。とりあえず工事が終わったということで、請願の内容での工事はなじまないのでは不採択となった。

<要望>

- ① 小規模土木について、地元負担が2割から3割となったが、地元負担を2割に戻してほしい。